

イデックスオイルレポート ~For a week~

2022/5/13作成 (株)新出光

【概況】<中国新型コロナウイルス感染拡大~ロシア産石油禁輸動向>

●6日、欧州連合(EU)は今週ウクライナ侵攻に対する経済制裁の一環で、ロシア産石油の輸入を年内に停止する方針を表明しました。同国産への依存度が高い東欧諸国が難色を示しており、特にハンガリーは反対の姿勢ですが、実施に向け調整を続けています。そのためWTI原油は、109.77ドルへ続伸しました。

●9日、中国での新型コロナウイルス感染拡大を受け、上海市でのロックダウン(都市封鎖)が長期化しています。同国での景気鈍化に伴うエネルギー需要の先行きに懸念が広がり、原油が売られWTI原油は103.09ドルへ反落しました。

●10日、上海、北京の両都市で一段と規制が強化され厳格な措置の導入で、4月の貿易収支は大きく悪化するなど同国の経済活動への影響が鮮明になっています。また年内にロシア産石油の輸入を禁止する方針をめぐり、ロシア産への依存度が高いハンガリーなど東欧諸国が反対姿勢を示し、合意実現が危ぶまれている事でWTI原油は99.76ドルへ下落しました。

●11日、ウクライナ当局による主要中継ルートの使用停止のため、ロシア産天然ガスのウクライナ経由での欧州への輸送量が11日、約25%減少しました。ロシアのウクライナ侵攻開始後、支障が生じたのは初めての事です。欧州連合(EU)による対ロシア追加経済制裁提案をめぐる不透明感も加わり、供給逼迫に拍車が掛かるとの懸念が強まり、WTI原油は105.71ドルまで上昇しました。

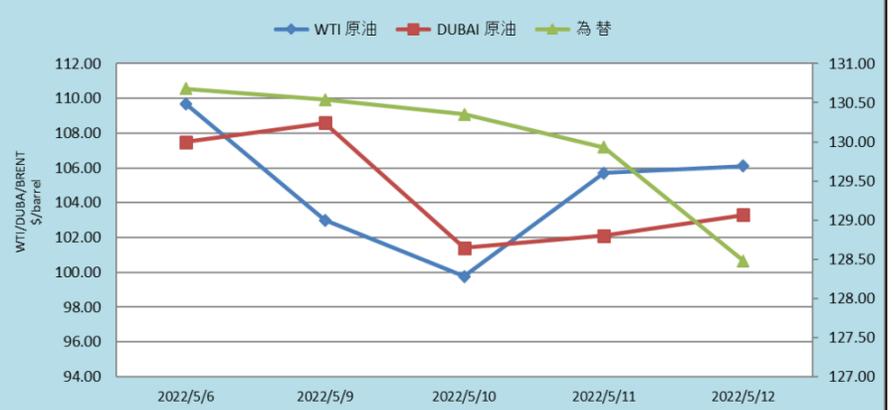
●12日、ロシア産石油禁輸の件で、実施に向け更に調整が続けられていると伝わり、供給不安を背景に買いが優勢となりWTI原油は106.13ドルへ続伸しました。

5月13日 17:00現在 WTI原油 107.58ドル 為替 1ドル 129.90円

国内石油製品在庫 5月7日時点



ドル/bbl WTI・DUBAI / 為替 相関グラフ



	次回元売変動予測	
	5/19~	元売変動予測
ガソリン	→	-40~-45
灯油	→	-40~-45
軽油	→	-40~-45
A重油	→	-40~-45
LSA	→	-40~-45

※原油コスト「-2.5円~-3.0円」
 ※激変緩和補助金「-36.2円」
 ※現時点での予測です。

【製品卸価格】<市況連動玉の販売攻勢が強まる>

《今週》今週の元売り仕切り改定は3社ともに原油コスト「+2.5円」、補助金「-34.7円」となり、実質「-0.4円」の値下げ改定となりました。資源エネルギー庁の公表する全国レギュラーガソリンの9日時点の小売価格平均は171.1円となっております。

今週のマーケットの主役は、元売週間玉を持つ業者と市況連動玉を持つ業者です。市況連動玉を持つ業者は来週の大幅な下げを見込み販売攻勢をかけています。

《5月14日以降》次回の元売り改定は、原油コスト「-2.5~-3.0」の値下げ改定予測で、激変緩和補助金は「-36.2円」の見込みで、都合「-4.0~-4.5円値下げ」の改定の予測となっています。

上海北京両都市での新型コロナウイルス蔓延による景気鈍化によりエネルギー需要の先行きに懸念が広がり、原油価格が下落しています。来週の元売改定の大幅下げを見込み市況連動玉を有する業者は、率先して値下げし販売攻勢を強めていくと思われます。19日以降の大幅値下げ改定後は、元売週間玉を持つ業者の競争力が勝るため市況連動玉を持つ業者は、18日までにある程度の枠を消化するように販売していくものと思われます。

【次世代エネルギー】<純水素型燃料電池を活用したRE100化ソリューションを実証>

パナソニック株式会社が草津市にて、純水素型燃料電池と太陽電池を組み合わせた自家発電により、事業活動で消費するエネルギーを100%再生可能エネルギーで賄う「RE100化ソリューション」の実証に4月より取り組んでいます。本格的に水素を活用する工場のRE100化は、世界で初めて試みとなります。設備としては、純水素型燃料電池(500 kW)と太陽電池(約570 kW)を組み合わせた自家発電設備、そして余剰電力を蓄えるリチウムイオン蓄電池(約1.1 MWh)を備えた大規模な実証施設を設置しています。この3電池連携による最適な電力需給運用に関する技術開発および検証を行い、企業の持続的な成長の為にESG(環境・社会・企業統治)が示す観点より「RE100ソリューション」の事業化を目指しています。

[出典]

① <https://news.panasonic.com/jp/press/data/2022/04/in220415-1/in220415-1.html>